



社会参加委員会便り No. 14

名古屋市高年大学「鯉城学園」学生協議会
社会参加委員会
(名古屋市中区栄1-23-13鯉城学園内)

今年度のボランティア活動が順次実施されました。その報告と共にクラス・クラブでの自主的な独自ボランティア活動の様子等も投稿していただきました。

◇ 秋の藤前干潟クリーン大作戦

31期 園芸 山下 富和

10月29日の土曜日、日比野バス停から三重交通臨時バス2台に分散し乗車、和気あいあいの中南陽町藤前に到着、マナ力使用可能。徒歩にて集合場所藤前活動センターへ、男子ばかりの園芸仲間と先ずは記念写真。清掃活動場所は結構な岩場気をつけないと危険。『こんにちは！ご苦労様です！』多くの若者たちに声をかけられ、まんざらでもない気持ちだ、鯉城学園生も伸び伸びと見える。天気も良く周りも広い、少し暑くなり上着を脱ぎ熱中症対策でスポーツドリンクを先ずは一杯、園芸仲間ものんびりと清掃活動している。終了の合図があり、10ℓゴミ袋もソコソコ入ってる、解散場所に帰ろう。市バス停のサンビーチ日光川まで約1.3K、敬老パス使用可能。鯉城学園生で満員御礼。一日は早かった。新鮮な野菜を食べ、健康に留意して、2年生になっても??。

◇ 社会奉仕活動一鶴舞公園清掃活動に参加して

30期 美術 白木原 賢三

鶴舞公園清掃活動参加者募集があり、何故か私は参加する事にしました。当日市内各区毎に集合場所へ(区の名前入り旗を立ててありました。)集合場所で清掃活動について注意事項等説明があり、清掃に必要な物(ゴミ収集袋、ゴミ掴み、手袋等)が渡された。社会奉仕活動とは縁遠い私が何故積極的に参加する様になったのか、それは鯉城学園共通講座の中で講師の先生が地域で助け合う、困っている方にとって力になる事の大切さを話され、少しわかり、自ら参加した。清掃活動が終り昼食をとりながら、皆さんと話をする中、自然と充たされた気持ち、すがすがしさを感じた。奉仕活動の意欲を持ち続けるには日頃からの体調管理、日常精神的管理を行いつつでもやれる状態を作っておきたい。私は歩く事で健康になりました。勿論食事、休養も大切。そのおかげで病気もほとんどしなくなった。それは歩く事が体に良い影響を与える結果毎日のウォーキング30分は欠かせない。結果から推測するだけで根拠がある訳ではない。

◇ 堀川清掃大作戦に参加して

31期 陶芸 松本 博子

11月5日堀川上流から下流までを11拠点に分けた第5回堀川清掃大作戦が開始された。11拠点(瑞穂区堀田新開橋右岸歩道)の担当となり、社会参加委員として準備の段階から参加する事が出来た。私を含めクラスの参加者の多くは土地勘がなく、アクセス等の質問が多かった為2度の下見を実施し、アクセス・注意事項・地図を添付した「案内パンフレット」を作成、配布した。当日は、全員時間前に集合、火バサミ・ゴミ袋(分別わけ)、クラス旗持ちと、委員が声をかけなくても役割分担ができていた。工場が多い地域であり、大きなゴミは無いがタバコの吸殻や紙くずが目立った。日頃話が出来ないクラスメートとコミュニケーションも取りながらの1時間の清掃はウォーキング効果があり心地よい汗をかくことが出来た。最終地点の付近にはとても美味しい「ういろの老舗」があり、解散後クラスの参加者とお邪魔して、試食とお土産の購入ができたことも堀川清掃とともにいい思い出となった。

◇ コーラスクラブ

30期 地域A 倉地 峯子

コーラスクラブは、男声と女声(ソプラノ・アルト)の3部構成で、現在部員数は31名です。学園の文化祭や学園外での合唱参加に向けて課題曲を繰り返し練習しています。今年度は6曲でパフォーマンスもあり、そのうち1曲はイタリア語にも挑戦しました。社会参加活動は熱田区にある「グループホーム熱田荘」へ平成22年7月より先輩方からの活動を受け継いで年2回(7月、12月)に訪問しています。クラブ活動の年間行事に組み入れ、その為の自主練習も重ねています。施設側とは事前に打合せの後、部員20名位で訪問し、主に季節の歌や懐かしい歌を皆で楽しく歌います。また入居者の方の誕生月のイベントや「手遊び」も部員も一緒になって輪に入ります。入居者の方の表情もだんだん和らぎ、言葉も出てきて私達の方が心温まる思いをさせていただいております。在学中にぜひ経験し続けていきたいものです。

◇ オカリナクラブ

30期 地域B 三輪 治敬

私たちオカリナクラブはメンバーの大半が初心者です。それでも入部半年後の文化祭頃になると、皆それなりにオカリナ演奏を楽しめるようになります。この時期くらいから、老人施設等の依頼に応じてボランティア演奏に出かけることが多くなります。オカリナは音色も優しく癒される楽器の代表格のようです。このため、子供からお年寄りまで愛好者の幅が広く、私たちもいろいろな催しで演奏を依頼されますが、とりわけ老人施設からのリクエストが最も多いのが実情です。実際に出かけて行って演奏してみますと、どの会場でも、みなさん喜んで聴いていただき、笑顔で「ありがとう、また来てね」と言葉をかけられるなど、いつも大変な感動を覚えます。また活動を通じて演奏技術の向上にも繋がりますし、メンバー間の一体感も生まれ、まさに良いことづくめです。これからも機会があれば積極的に出かけていきたいと思っています。

◇ フラダンスクラブ

「ボランティア活動を通して思うこと」 31期 健康A 鈴木 豊子

フラダンスクラブは結成わずか3年で2年生12人、1年生9人合計21人の少人数です。私達フラダンスクラブは2年生を中心にフォークソングクラブとコラボして積極的に老人施設等でボランティアに参加しています。私はフラダンスは初めての経験で人前で踊れる腕前ではないのですが、先輩から大勢の前で踊ることが上手になる早道だよと言われて参加しました。参加してお年寄りの方々に可愛いよ綺麗だねと普段言われない言葉をかけていただき若くなった気がします。またフォークソングクラブの方々も昔懐かしい曲をギター伴奏で施設の方たちと一緒に歌い楽しいボランティアになりお年寄りの方の素敵な笑顔を見ることが出来るボランティア活動の楽しさを知りました。



……今後の全学対象ボランティア活動の予定……
3月12日(日)名古屋ウイメンズマラソン2017